



京都大学 学術研究支援室

Kyoto University Research Administration Office

Connecting Research Worlds

KURA

Message from KURA members

KURAからのメッセージ

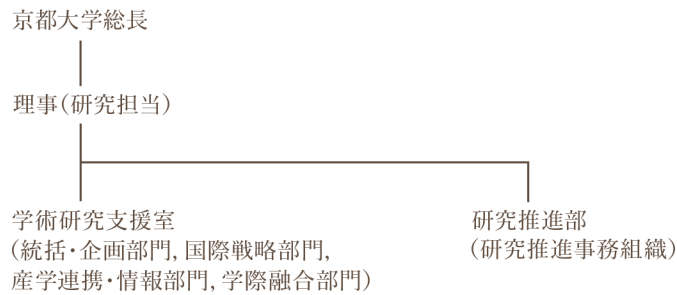
京都大学は開学以来「自由の学風」を大学の根幹に据え、研究大学としての基本理念である「地球社会の調和ある共存」の実現に向けて励んできました。

学術研究支援室ではこの基本理念のもと、研究組織、制度や学術研究そのものに内在するさまざまな境界を「越境」するような取組みを推進しています。

境界を乗り越え、多様な考えに接することにより、これまでの常識を塗り替えるような発想が生まれます。未踏科学領域の創成もそのひとつです。こうした発想を育み、未来への実現に向けた人と人、活動と活動を結びつける、既存のスタイルを越えた挑戦を学術研究支援室は応援します。

Organizational structure

組織図



Information

お問い合わせ

ご意見・ご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。

京都大学 学術研究支援室(KURA)

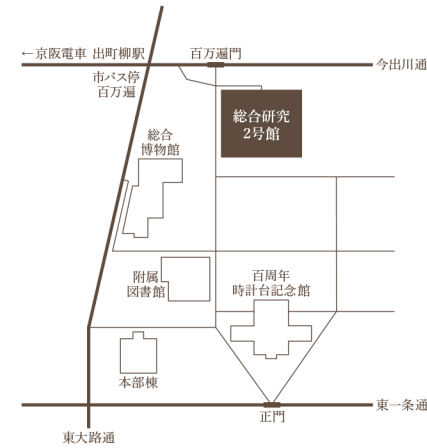
〒606-8501

京都市左京区吉田本町総合研究2号館3階 321号室

TEL: 075-753-5108(事務担当) FAX: 075-753-5110

E-MAIL: contact@kura.kyoto-u.ac.jp

<http://www.kura.kyoto-u.ac.jp/>



京阪本線「出町柳」駅で下車徒歩15分
1番出口から今川通りを東進、百万遍交差点付近

京都大学学術研究支援室
Kyoto University
Research Administration Office

2015年5月1日 第1刷発行

©Kyoto University
Research Administration Office 2015
Printed in Japan

KURA

京都大学 学術研究支援室

Kyoto University Research Administration Office Connecting Research Worlds

About KURA

KURAとは

KURA(京都大学学術研究支援室)は、高度な専門知識・経験を有する「リサーチ・アドミニストレーター(URA)」で構成され、研究者が研究活動に専念できる環境を整備するために研究プロジェクトの企画・運営・研究成果の社会還元を支援する組織です。京都大学では同じ目的で8地区に部局URA組織を配置し、共に協力し合いながら研究活動を支援しています。また国際交流推進機構・情報環境機構・産官学連携本部・学際融合教育研究推進センター・附属図書館などの学内組織と密接に連携し、全学的・弾力的な取り組みを実現します。

Our vision

KURAのビジョン

全学の教職員と協働し、京都大学の卓越した知の創造活動を支援する世界トップクラスのリサーチ・アドミニストレーションの専門家集団となる。

Our mission

KURAのミッション

- 1) 研究者の潜在能力が十分に発揮できる研究環境の整備と研究推進支援
学内支援組織と連携し、研究者が研究に専念できる環境を整備する。
部局URA組織と連携して競争的外部資金の一層の獲得を目指す。
国際・学際研究の推進を支援する。
京都大学の国際戦略に沿って研究の国際化推進を支援する。
- 2) 研究推進に資するデータ分析と情報の提供
研究力・研究環境の新たな分析手法を開発し、研究推進方策の策定を支援する。
学術政策動向を調査・分析し、情報を提供する。
- 3) 研究活動・成果の可視化と社会還元の推進
研究活動や研究成果の社会への発信を支援する。
大学と社会とのコミュニケーションを推進し、イノベーション創出を支援する。
- 4) URAの活動強化に向けた人材育成と体制整備
教育機会を積極的に活用し、高度な専門知識・技術を持つURA人材を育成する。
部局URA組織との密接な連携・交流により京都大学URAネットワークをさらに強化する。
国内外URA関連組織とのネットワークを構築する。

Applying for research funds

外部資金獲得を支援します



機関単位で申請する大型外部資金の獲得支援

企画立案、申請書のブラッシュアップ、ヒアリング対策などの支援をしています。
科研費等の研究費獲得に向けた支援

科研費: 科研費申請書の教科書の学内配布、申請書のブラッシュアップ、ヒアリング対策を行っています。

CREST・さきがけ、SATREPS、A-STEP その他: 募集説明会での情報収集、申請書のブラッシュアップ、ヒアリング対策を行っています。

外部資金獲得に向けた基盤整備

鎗(やり): 次々に公募される外部資金の情報を掲載し、研究者の興味に合わせた条件での検索を可能にするサイトを構築・運営しています。

Analyzing data

研究力分析手法を開発し活用します



独自の手法で研究力分析を実施

研究の価値や重要性は、論文数や被引用数だけで正当に評価できるのでしょうか? 日進月歩する研究の最前線を観察し、新しい評価・分析手法を開発します。世界大学ランキングにも目を向け、データ分析を通じた研究推進戦略の策定に寄与しています。

Creating a supportive environment

研究環境改善に資する企画をします



研究活動を活性化するプログラムを企画・開発・運営

きづき: ひらめきが起きる環境構築を目指す制度を企画・運営しています。
いしずえ: 新規テーマによる研究プロジェクトの立ち上げを支援するプログラムを提供しています。

英文校閲支援: 論文投稿の最後の一押しのため、英文による論文作成についてのワークショップを実施したり、英文校閲のための資金をサポートする制度を運営しています。

分野を越境したい研究者の挑戦をサポート

研究会・ワークショップ支援事業: 挑戦したい学際的なアイデアがあるのに、どうやって異なる専門の人を集めて議論したらいいかわからない...そんな悩みを解決し、ユニークなアイデアの実現に向けて、研究会・ワークショップの企画と資金的な支援をしています。

学内ファンド事業SPIRITS: 国際共同研究の形成や異分野融合の新たな取り組みに対して、資金支援とプロジェクトのコーディネートをを行います。

Communicating research to the world

研究活動の社会還元のための 双方向コミュニケーションをデザインします



国民との科学技術対話(パブリック・エンゲージメント)の推進

京都大学アカデミックデイ: 100人以上の研究者と500人規模の来場者が語り合う“対話の場”を作ります。研究成果や研究プロセス、研究者の人となりを伝えるだけでなく、対話を通して研究者が研究の意義を捉え直し、それを日ごろの研究活動に還元する機会をつくることも目的のひとつです。

対話トレーニング: 研究者を対象に、非専門家へ伝える話し方を身につけるためのワークショップを提供しています。

K.U.RESEARCH: 未踏領域に挑戦する京都大学の研究者の熱い想いと成果に秘められた物語を発信するウェブサイトを開発・運営しています。

Taking a global view

研究支援を世界的視野で展開します



国際共同研究の推進

京都大学の国際戦略“2x by 2020”に沿って、国際共同研究の推進支援を行います。これらの活動をアジア、ヨーロッパにある3つの海外拠点と連携し、全学的な国際シンポジウムを通じて進めています。また、京都大学の独創的・先進的な研究に関する英文冊子“Research Activities”を刊行し、海外研究機関に配布しています。

Valuing skills and experiences

URAの知識・技術の高度化を推進します



専門知識習得のためのカリキュラムを策定・実施

研究推進にかかる知識・技術の集約に向けた取り組みや研究会を企画・実施しています。また、URA育成カリキュラムを策定し、段階的に研修を行っています。